会議結果報告書

1　会議名	ごみ処理に関する課題についての意見交換会（矢畑南自治会）
2　日時	平成 30 年 9 月 9 日（日）19：00～20：00
3　場所	青少年会館
4　出席者	（資源循環課）熊澤課長、下舞主任 （環境事業センター）林所長補佐、安齋担当主査 （矢畑南自治会）参加人数：51 人
5　内容	本市のごみ処理に関する課題について意見交換会を実施した。会議の主な質問と意見は次のとおりであった。 ●資料１の円グラフにおいて、家庭ごみ有料化を実施した場合、どの品目が減ることを想定しているのか。また、他市はどの品目が減ったのか教えて欲しい。また、他市において、ごみ削減は２年で下げ止まっている。これは減量目標値を達成したのか、まだ分別できる余地があるのか分からない。２年経過すれば、茅ヶ崎市も同じ状況になるのではないか。本当にごみが減るのか疑問である。 →他市の状況は調査している。本市において不適正排出が約 25%あるので、それが減ることを想定している。また、家庭ごみ有料化は、ごみ減量施策において、最も効果が出ている施策である。 ●戸別収集を実施する場合、全世帯で行う予定か。 →実施する場合、全世帯で行う予定である。藤沢市の場合、当初はモデル地区で検討している。 ●家庭ごみ有料化や戸別収集を実施した場合、収集頻度は変わるか。 →収集頻度に変更は無いと思われる。 ●家庭ごみ有料化を実施する場合、剪定枝を燃えるごみから除いて欲しい。 →市内、特に北部において、同じ要望があるため、今後検討してきたい。 ●戸別収集を実施する場合、税金は上がるか。 →環境事業センター業務担当が戸別収集のコストを試算中である。負担の増える車両増加数や人件費などである。税金を上げることは検討していない。 ●焼却炉を寒川町も使用しているので、寒川町も同じように家庭ごみ有料化を検討するべきではないか。 →寒川町は家庭ごみ有料化を既に実施している。 ●実施する場合、不法投棄対策が必要になる。有効手段など検討しているか。

	→実施するか未定であるが、本市で有効手段などを検討している。しかし、先行自治体においても有効手段がない状況である。 以上